

竜の眼

編集方針

- ①会員の自由かつ達な意見交換の場
- ②オンブズマン活動の発展に貢献
- ③おもしろく、分かりやすく、役に立つ

第9号 2004.10.1発行
仙台市民オンブズマン・タイアップグループ
仙台市青葉区中央4-3-28朝市ビル3F
宮城地域自治研究所内
TEL022(227)9900 FAX022(227)3267
<http://homepage3.nifty.com/s-ombuds/>
e-mail:s-ombuds@nifty.com



庭にけなげに咲くサフラン

撮影：三塚芳徳

チケット販売枚数
135枚!
えっ
これでは会場がブレイクできません

支援企画7成功へご協力をお願いします

宮城三女高 OG合唱団

指揮 桑折 金三 氏

宮城県第三女子高校音楽部卒業生によって2001年12月に結成。2003年には全日本合唱コンクール全国大会にて金賞を得、また今年は森山直太朗の「さくら」のバックコーラスをつとめた卒業生も迎え入れ、世界的なコンクールにも挑戦している現在注目を浴びる合唱団です。

今年も「全日本合唱コンクール」で金賞を受賞しますます輝いています。



オンブズマン支援企画は10月20日(水)です。
お誘い合わせて、お越しください。ご協力をお願いします。
チケットご入り用の方。事務局にまだたくさんあります。

04.
10月20日(水)
18:00開場 18:30開演

仙台市
青年文化センター
シアターホール

仙台市青葉区旭ヶ丘三丁目27-5 ☎022-276-2110
地下鉄「旭ヶ丘駅」下車徒歩1分

熊谷 和徳さん

タップダンスのルーツは、話すことを禁じられ歌うことも許されなかつた黒人たちが考えだしたコミュニケーションをとるための手段であったといいます。今の時代に生きる僕達にとっても、タップダンスそして音楽は、自分自身の意志を表し感情を表現するための手段として、国境を超えて生き続けています。



7月の仙台でのロングランステージが大成功!
河北新報でも熊谷さんの活躍が大きく載りました。

オンブズマン 支援企画7

当日お手伝いいただける ボランティアを募集中です

10月20日(水)17:00集合(少々遅れても可)で、会場設営・受付、切符のもりぎり、後片づけなど。手伝っていただける方を募集中です。10月13日に実行委員会がありますので、できれば13日までに事務局 022-227-9900へお電話でご連絡ください。お待ちしています。

裏館で開催された第十一回全国市民オンブズマン函館大会に参加した私は、とて一番関心があったのは、北海道警察の不正事件でした。本部長、次長などという責任ある地位にあつた人が、白分達がやつてきた不正を世にさらけ出すという決心をした勇気ใจに心を打たれましたが、その時ふと、オンブズマンの口頭の活動も、こんな時の人の心に生きているかもしれないと思いました。警察は、真相の究明というよりも、犯罪の隠蔽におおわらわだというのです。昔の親は子どもが悪いことをすると「お巡りさんが来るよ」と言つたものだけれど。

全体会が終わつた日の夜、函館山の上から、初めて眺めた百万ドルの夜景は、裏金なしの見事な輝きでした。

心を打たれた函館大会

大野ヨシ

ひろば

この欄は皆さんの意見
交換のスペースです。
投稿をお待ちしています。

今、地下鉄東西線がホットです

弁護士 小野寺 信一

この人に聞く
これつて何

人口増加の不思議

最近、「県内の人口自然増 最低の0・11%」という新聞記事を見た人もいると思うが、仙台もご多分にもれず年間増3265人まで落ち込んでしまった。この傾向は当分続くものと予想される。ところが、地下鉄東西線の計画では、開業までは東西線沿線に3万2000人がばかり付くことになっている。今後の仙台市全体の人口増のすべてが東西線沿線にはり付く計算である。それだけではない。公園用地として都市計画決定し、住民に立ち退きを求めていたる追廻地区の人口が開業時までに69人増えることになつていて、需要見込みが眉唾であることは、これだけでも明らかである。なぜこんなことになつたのか。

「龍の眼」前号（4月1日号）でも、「地下鉄東西線なぜ早く？」という千葉晃平先生の問題提起がありました。オーブスマントの裁判活動で、当局の政策決定にいたるプロセスのいい加減さが、あぶり出されています。

今号では小野寺信一先生に、裁判の状況と意気込みとを書いていただきました。（註・小見出しは編集部）



コンサルタントの 言うとおりになる不思議

それは仙台市が今でも平成4年の古データにしがみつき、しかもコンサルタントの資料を鵜呑みにし、現地にあたって検証することを怠ったからである。この点は前回大内先生の説得力ある証言によって裁判所に十分理解してもらつたものと考えている。

建設費を少なく 見積もる不思議

建設費1kmあたり190億円も大いに怪しい。各地で1kmあたり300億円～305億円に達している以上、190億円で収まるはずはないからである。9月28日の裁判で神戸、京都、名古屋、東京の各交通局に「計画における1kmあたりの予想工事費と完成後の1kmあたりの実績工事費、および工事費増加の原因ならびに計画時において工事費の増加を予想できなかつた理由」について回答を求める調査嘱託が採用された。どんな結果が出てくるか興味津々である。各地の工事費増加の原因は、そのまま仙台市にもあてはまることをこれから明らかにしていくつもりである。

全国どこでも 見込みがはずれる不思議

乗車人の数の見込みのはずれ（過剰予測）と建設費の見込みのはずれ（過少予測）が合わされ、地下鉄東西線の台所は、開業と一緒に火の車になることは見えていた。私達の調査では、全国の地下鉄も全部このパターンであった。「穴を開てしまえばこちらのもの」と言わんばかりの出鱈目な公共事業にストップをかけることができたかどうか。

次回10月14日午後1時30分には、需要予測をたてた仙台市職員の証人尋問があるので、計画の一角を突き崩したいと思つてるので是非、裁判所に足を運んで下さい。

函館の夜景を満喫

野澤裕子



新しい「思い出」づくりへ

中田 美智子

今年の全国大会は「函館」。何度行っても好きな街で、思い出もあるので、率先して参加しました。

増田先生のおかげで、函館の『裏夜景』

と地元食材の料理を堪能。マジシャンでもある十河先生が、天文にも詳しく、星座をロマンチックに教えてください、あらためて仙台市民オーブスマントの多彩さに感心しました。

私たちの宿泊先は、市内のビジネスホテル。せっかく会場が『湯の川温泉』なのに、温泉好きの私は口惜しい想いが募ります。思いきって二日目時間前に大会会場のホテルに行つて、宿泊者を装い朝風呂に入ることに成功しました。

北海道警察の裏金についてのシンボジウムは、元警察官の原田氏と齊藤氏の心情や、北海道新聞の記者の熱情に涙がこみ上げる場面もあり、圧巻でした。



ひろばのつづき